



セラミックスで培った技術を農業分野へ応用

施設栽培(ハウス栽培)における栽培植物の健全な育成を促す農業設備・装置の開発を手掛ける。セラミックスで培った技術を農業へ活用するほか、土木工学や機械工業、農業の技術を相互に活かし、農業分野への進出を計画している。提携先企業との連携事業により2012年には農園事業分野に本格的に進出する見込みである。

業況等の動向について

本業の動向について

セラミックス開発製品の製造(珪藻土セラミックス、調湿建材、加湿花瓶、乾燥靴型他)、陶磁器製品の製造(多孔質陶磁器製品(一部委託製造))を手掛ける。

製品自体の評価はあるものの、事業としてはまだ成長していない段階である。

異業種参入事業の概要

施設栽培(ハウス栽培)における農業設備の開発、製造。植物の栽培に必要な温度管理(冷却や加温)を的確に行い植物の健全な育成を促すための装置を開発。

数字的にはまだではあるが、設備自体は評価されており問い合わせ等はあるため、今後の需要は期待できる。

現在の業容は売上高が500千円、売上高構成比50.0%である。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

セラミックスで培った技術の農業での活用。農業を変えたい(県内・国内)。工業(土木工学・機械工業)と農業、お互いの優れた技術を農業に活かし、誰でも何処でも農業ができる、また、農業を行いたいと思えるものにしたい。

農業を産業にすることで雇用の創出、大量生産、自給率の向上につなげたい、などの理由から。

マーケティングについて

県内の栽培農家(例:いちご栽培農家、胡蝶蘭の栽培農家)の軒数、ハウス栽培のハウスの数等について行った。

参入しての投資について

マーケティング関連、技術開発、設計等に3,000千円を投資した。

参入して最も成果のあがったこと

多方面の技術情報の収集ができた。自社の技術について確信が持てた。他の企業との連携を行うことができた。それらにより、事業拡大の期待が持てたことである。

参入して最も困難だったこと

実績が少ないため資金調達に苦勞し、共同開発者を探すのにも苦勞した。

参入に際して活用した自社の技術/ノウハウについて

植物栽培装置(出願番号 2010-220485):適切な温度管理を行う。植物栽培用局部断熱用囲い(出願番号 2010-220486):植物の成長に必要な部分を冷却、加温する温度管理のエネルギーを減量する。施設栽培加温装置(出願番号 2010-246454):植物を栽培するハウス施設栽培装置において、蒸気加温、湿風加温など大きなエネルギーを要する温度管理のエネルギーを減量する。植物栽培温度調節装置(出願番号 2011-152106):植物施設栽培においてハウス内の冷却・加温を行い良好な栽培が可能。

今後の展望・見通し

農園芸事業の計画(連携先企業:大有コンクリート工業株式会社と2012年に参入のため準備中)。

メリット・デメリット

多方面の技術収集ができる 多方面の情報が吸収できる 多方面の企業連携ができる。こうした要因により、更なる製品開発などにつながる点がメリットである。

デメリットはまだないが、連携、共同開発を行う際に経営面の問題や信頼関係などで頓挫することが考えられる。

異業種参入時のアドバイス

自社技術を可能な限り詳細に公開する。参入する業種の情報を詳細に収集する。知的財産(特許、商標登録、意匠等)について勉強する。開発製品については特許を取得(特許申請がされていないか注意する)。信頼のできる人物を得る。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度
愛知県ベンチャー企業マーケット開拓支援事業。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

企業の情報(技術)などの提供。異業種企業の紹介・マッチング。資金面(開発費用等)の支援制度の充実。

会社概要

設立:平成17年8月26日

資本金:660万円

従業員数:1名

URL: <http://www1.ocn.ne.jp/~pearl11/>